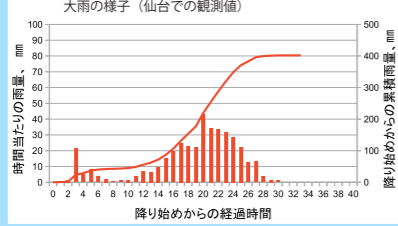


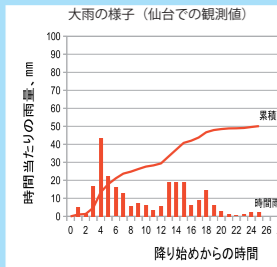
◆ 岩沼市のおもな風水害

災害の種類	発生時期	災害の概要
土砂災害	昭和49(1974)年 2月18日	志賀字塩ノ入において杉山一帯で 地すべり発生、付近住民に避難指示
大雨・洪水	昭和61(1986)年 8月5日	台風10号(通称8.5豪雨)により降雨量423mm、 ・負傷者2名・半壊1棟・一部損壊1棟 ・床上浸水539棟・床下浸水1,578棟
大雨・洪水	平成6(1994)年 9月22日	集中豪雨(通称9.22豪雨)により降雨量415.5mm、 ・負傷者1名 ・全壊3棟・床上浸水1,156棟・床下浸水1,404棟等
地震・津波	平成23(2011)年 3月11日	東北地方太平洋沖地震による浸水被害 ・床上浸水1,611棟・床下浸水114棟・非住家被害3,126棟 ・浸水面積 約29km ² (市内面積の約48%) ・全壊736棟・大規模半壊509棟・半壊1,097棟・一部損壊3,086棟

◆昭和61(1986)年8月5日(8.5豪雨)



◆平成6(1994)年9月22日(9.22豪雨)



◆防災情報の発令と市民の対応について

阿武隈川の水位の状況	市の対応	市民の皆さんに お願いしたいこと
大雨・洪水に関する警報が発表され、避難判断水位(7.9m)に達すると予想されるとき 水位は、いずれも阿武隈川の岩沼観測所での観測水位を示しています	避難準備・高齢者等避難開始 を発令 ・エフエムいわぬまや防災行政無線等で避難準備または自主避難(特定の人に対しては避難)を呼びかけます ・避難所を開設します	・災害時、特に避難行動に時間を要する方(お年寄りや障がいのある方、子どもなど)とその支援をする方は、避難所に避難するなどの避難行動を開始してください ・ラジオや無線の情報に注意してください ・通常の避難行動ができる方は家族などとの連絡、非常持ち出し品の用意など、避難の準備を開始してください
大雨・洪水に関する警報が発表され、避難判断水位(7.9m)を超えて、なお増水により氾濫危険水位(8.2m)に到達すると予想されるとき	避難勧告 を発令 ・緊急エリアメール、エフエムいわぬまや防災行政無線等で避難を呼びかけます	・通常の避難行動ができる方は、避難所や安全な知人宅への避難を開始してください ・すでに浸水が始まっている場合には、無理に避難所へ移動せず、浸水していない近くの高いところへ、一時的に避難するなどの行動を取ってください
大雨・洪水に関する特別警報等が発表され、氾濫危険水位(8.2m)を超えて、なお増水のおそれがあるとき	避難指示(緊急) を発令 ・緊急エリアメール、エフエムいわぬまや防災行政無線等で避難を呼びかけます	・避難所などの安全な場所への避難を完了してください ・すでに浸水が始まっている場合には、無理に避難所へ移動せず、浸水していない近くの高いところへ、一時的に避難するなどの行動を取ってください

このほか、阿武隈川以外の河川(五間堀川など)については、防災気象情報、水位情報や河川監視などに基づいて、避難勧告等を発令する場合があります。

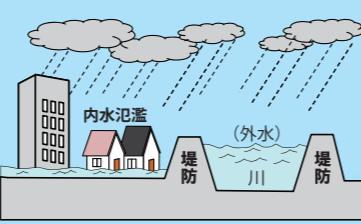
**自分・家族で状況確認、
早めの避難で安全確保!!**

◆ 雨の降り方

予報用語	1時間雨量 (mm)				
	10以上～ 20未満	20以上～ 30未満	30以上～ 50未満	50以上～ 80未満	80以上
やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨	
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる
屋外の様子	地面一面に水たまりができる		一部の道路が川のようになる	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	
車に乗っていて	ワイパーを速くしても見づらい	高速走行時、ブレーキが効かなくなる(ハイドロブレーニング現象)	車の運転は危険		

気象庁資料による

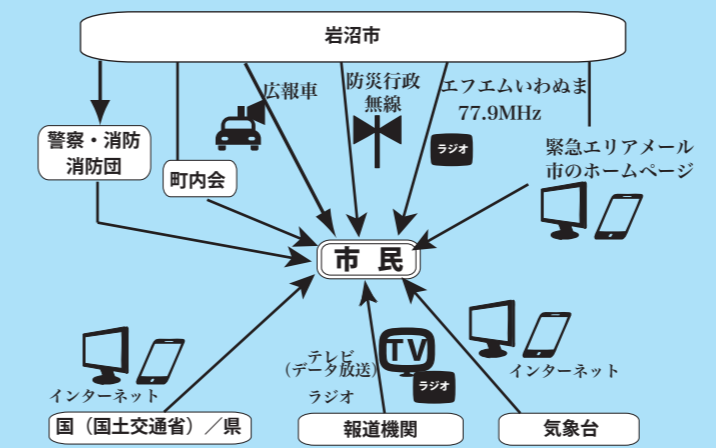
メモ



【内水氾濫】

水路や側溝、下水道の排水能力以上の強い雨が降ってしまうと、河川からの氾濫がなくても、土地の低いところから浸水被害が発生する場合があります。大雨のときは家のまわりの状態にも気をつけましょう。

◆ 正しく情報を得て、早めの避難を



■ 岩沼市による防災情報の提供方法

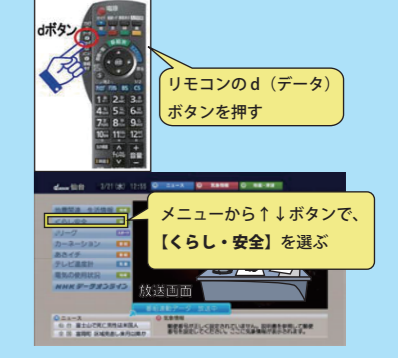
- 【岩沼市のホームページ・防災アプリ】
防災情報、災害情報、避難勧告等をお知らせします
- 【エフエムいわぬま】
災害情報や避難勧告等をお知らせします
周波数 77.9MHz
- 【緊急エリアメール】
避難勧告等を携帯電話・スマートフォンに直接配信します
岩沼市内エリア内にある NTT ドコモ、AU、ソフトバンクの利用者へ自動的に配信されます(無料)
- 【防災行政無線】
災害情報や避難勧告等をスピーカー(拡声子局)によりお知らせします
- その他、防災情報の入手方法(主なもの)
 - ・予報/警報などの気象情報
仙台管区気象台 (PC) <http://www.jma-net.go.jp/sendai/>
 - ・阿武隈川の水位などの情報
国土交通省 川の防災情報 (PC) <http://www.river.go.jp/kawabou/ipTopGaikyo.do>
 - ・五間堀川流域の水位や雨量の情報
国土交通省仙台河川国道事務所 五間堀川浸水情報システム (PC) <http://www.thr.mlit.go.jp/sendai/shinsui/index.html>



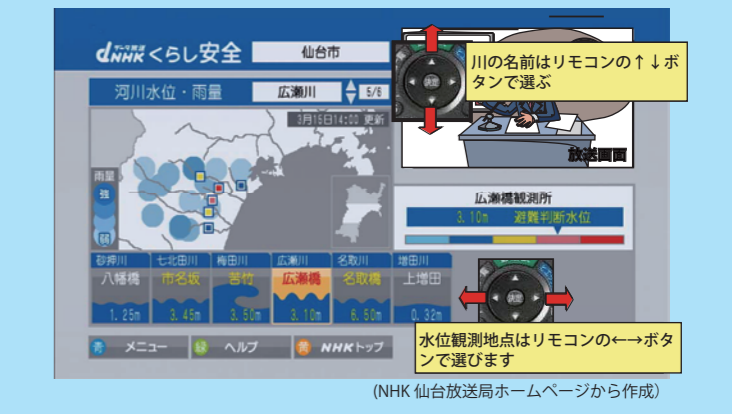
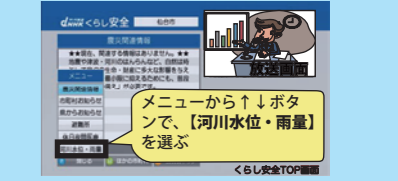
◆ テレビのデータ放送で、気象、災害関連情報、岩沼市の防災情報等を確認することができます

- 確認される情報
 - ・気象台からの気象予報/警報
 - ・宮城県や国土交通省からの洪水に関する情報
 - ・岩沼市が発令している避難情報(避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示(緊急))とその対象となる行政区
 - ・岩沼市の避難所の開設状況等

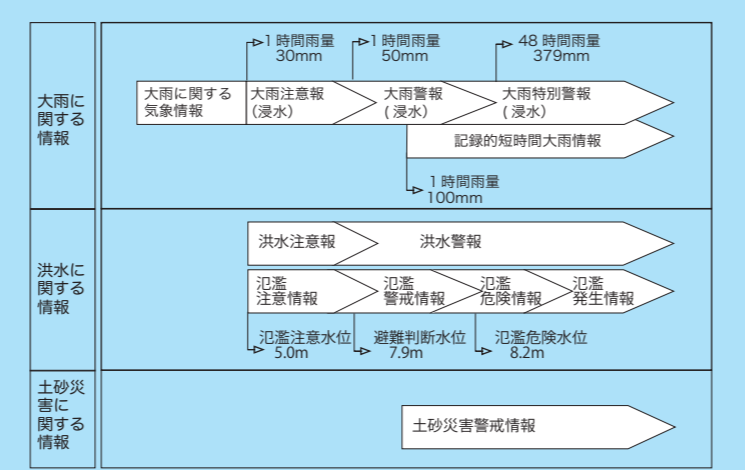
■ データ放送を見るには、



● さらに、データ放送から河川(阿武隈川)の水位情報を確認することもできます

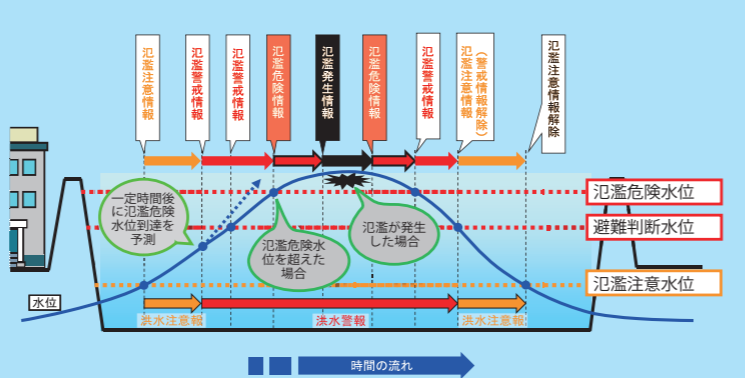


【参考】 防災気象情報のいろいろ



雨量の値は、岩沼市を含む予報区「東部仙台」での基準値です
水位の値は、水位観測点「岩沼」での基準値です

【参考】 川の水位の変化と防災情報



◆ 安全で早めの避難をしましょう!

事前の準備もしっかりと

- 1. 家の外の備え**
 - ・大雨が降る前、風が強くなる前に行う。
 - ・窓や戸締りはしっかりとカギをかけ、必要に応じて補強する。
 - ・側溝や排水口は掃除して水はけを良くしておく。
 - ・風で飛ばされそうな物は飛ばないように固定したり、家の中へ格納する。
- 2. 家の中の備え**
 - ・非常用品の確認
懐中電灯・携帯用ラジオ(乾電池)
救急薬品・衣類
非常用食品・携帯ボンベ式コンロ・貴重品など
 - ・室内からの安全対策
飛散防止フィルムなどを窓ガラスに貼ったり、飛来物の飛び込み
に備えてカーテンやブラインドをおろしておく。
 - ・水の確保
断水に備えて飲料水を確保するほか、浴槽に水を張るなどして生活用水を確保する。
- 3. 避難場所の確認など**
 - ・避難所、避難場所への避難経路を確認しておく。
 - ・普段から家族で避難場所や連絡方法などを話し合っておく。
 - ・持ち物を最小限にして、両手を使えるようにしておく。

避難するときの注意点

- 1. 安全な場所や建物に早めに避難**
 - ・大雨が降っている時や夜間に、外に出るとかえって危険なことがあるので、建物の2階以上の高いところに避難する。
- 2. 浸水しているときの避難には注意**
 - ・側溝等がないかを杖などで確認しながら歩く。
 - ・水の深さが50cm程度以上(水の流れが急なときは20cm程度以上)のときは、かえって危険な場合があります。
- 3. 水のたまりやすいところから離れる**
 - ・地下室やアンダーパス(道路がまわりの地面より低くなっているところ)には水が流れ込んで危険です。
 - ・車に乗っているときは、速やかに脱出してください。
- 4. 土砂災害のおそれのある区域から離れる**
 - ・避難するいとまがないときは、近くの頑丈な建物か、家の中でもがけから遠い2階の部屋などに避難してください。

◆ 土砂災害から身を守りましょう

代表的な前兆現象

■ 山全体からうなるような音がする(山鳴り)
・上流で山が崩れ、大きな石がぶつかりながら流れている

■ 川の色が濁ったり、流木が混じっている
・上流で山が崩れ、土砂や木が流れている

■ 雨が降り続けているのに、川の水量が減っている
・上流の川や沢が崩れた土砂でせき止められており、危険が迫っている

避難所への移動が困難なときは(雨が強い、側溝が溢れている、夜の避難など)、**がけからはなれた部屋や2階などに避難しましょう**

土石流から逃げるときは、川や沢から直交する方向に離れて、頑丈な建物に避難する、あるいはやや高いところに逃げましょう